

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		福祉健康まつり開催事業		担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3304	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	1	地域福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市民等が福祉やボランティア活動、健康増進、医療等への理解を深めることを目的に、関係機関及び団体との協働事業として実施するものである。								
目的 ※何のために		市民等の福祉や健康に対する理解を深めるとともに、関係機関及び団体がPRする場を提供する。								
対象 ※誰・何を対象に		来場者、参加する関係機関や団体。								
手段 ※どのように		来場者が多く見込まれる土・日曜日に、展示や体験コーナー等を設けた福祉のイベントを開催する。								
成果 ※何を求めるか		市民等の福祉や健康への理解を深め、福祉に対する意識の高揚が図れる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(関係機関団体)								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	福祉健康まつり開催事業	1,303,545
本事業の 主な業務		・福祉健康まつりの開催					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		福祉健康まつりの開催	福祉健康まつりの開催	福祉健康まつりの開催	コロナにより福祉健康まつり中止	福祉健康まつりの開催 (冊子を作成し配布)	福祉健康まつりの開催
事業費	予算(現額)	3,318,000	3,698,000	3,577,000	0	2,368,000	3,671,000
	決算額	3,016,901	3,058,654	3,411,135	0	1,303,545	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	220,000	227,500	222,500	0	200,000
		一般財源	2,796,901	2,831,154	3,188,635	0	3,471,000
人件費	従事職員数(人)	0.38	0.60	0.39	0.43	0.39	0.67
	人件費相当試算※	2,956,020	4,669,200	3,065,790	3,498,480	3,027,147	5,448,003
総事業費試算		5,972,921	7,727,854	6,476,925	3,498,480	4,330,692	9,119,003

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	福祉健康まつり事業費	目標値	千円	3318	3698	3577	0	2368	3671	
		実績値		3017	3059	3411	0	1304	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		当該年度予算額 / 実績額							
	実績値の算出式									
活動指標 2	参加団体数	目標値	団体	63	63	63	63	63	63	
		実績値		79	83	82	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成19年度の実績（63団体）を下回らないことを目標とする。 / まつりに参加した関係団体等							
	実績値の算出式									
成果指標 1	来場者数	目標値	人	18000	18000	18000	18000	18000	18000	
		実績値		5824	16000	16800	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去で来場者数の多かった18000人を目標とする。 / まつり会場に来場した人数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、福祉健康まつりの開催は中止することとなった。代替事業としてボランティア活動や医療への理解・意識の高揚を図ることを目的として参加団体紹介冊子を作成した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、福祉健康まつりの開催は中止することとなった。
			評価者 福祉政策係長 関根 秀典

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、福祉健康まつりの開催は中止することとなったが、代替事業としてボランティア活動や医療への理解・意識の高揚を図ることを目的として参加団体紹介冊子を作成した。
			評価者 福祉政策係長 関根 秀典

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	福祉健康まつり開催事業	担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3304
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		評価の内容説明					
		昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、福祉健康まつりの開催は中止することとなった。代替事業としてボランティア活動や医療への理解・意識の高揚を図ることを目的として参加団体紹介冊子を作成した。冊子には参加団体の活動状況などの写真を盛り込み、表紙においては技活に登録しているイラストレーターを起用するほか、冊子に掲載している内容からプレゼントクイズを出題するなど多くの方々に読んでいただけるような工夫も行い、周知することができた。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	福祉政策課長 茂木 隆行				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	コロナ禍を踏まえ、福祉健康まつりに関係する団体（医療・介護・福祉等）と実施場所や内容を調整し、類似のイベントを福祉健康部及び社協と共同開催する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

